

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表: 令和4年 4月 13日

事業所名 ANDY

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		各スペースの機能を明確にしスケジュールにて割り振り、定員の適性を確保している。	・今後も継続していく
	2	職員の配置数は適切である	○		職員間で連携を行い、マンツーマンでの支援、集団での支援を行っている。	・今後も継続していく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		設備上、急な階段があり、2階部への車いすでの侵入は困難である。手すりや高さ調整のステップは各所に設置してある。	・更なる構造化の工夫を行う。 ・階段の昇降の際には、声掛け支援を継続していく ・今後も室内の導線に物を置かない ・追加可能な部分のバリアフリー化を目指す
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日清掃・消毒を行い、各スペースの機能を明確に分け、子供にもわかりやすくしている。	・更にわかりやすい空間を目指す。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		月に1度、社内会議を開き、利用児の状況把握、目標設定、施設としての振り返りを行っている。	・今後も継続していく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1度アンケート調査を実施している。集計を行い、結果を職員に明示することで業務・サービス等の改善を図っている。	・アンケートで挙げられた内容を精査し、改善に努めていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開している。	・今後も継続していく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・現状行っていない。今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に事業所内、外部、社内含め研修を行っている。	・今後も継続していく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		言語聴覚士による各種検査(ウィブシー、絵画語彙検査など)や、保育士による日々の観察、心理師による各種アセスメントを行い、定期面談での保護者ニーズを踏まえて計画を作成している	・今後も継続していく
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・今後も継続していく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		今後も各項目に合わせた具体的な計画を作成し支援を行う。	・今後も継続していく
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に基づき日々のプログラムを作成している。	・今後も継続していく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々ミーティングを行いながらプログラムを全体で確認している。	・今後も継続していく
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		豊富な種類のプログラムを用意し、支援を行っている。その日の利用児の状況によっても適切に支援が提供できるように、準備している。	・今後も継続していく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		公園への外出やイベントを通して集団行動を学ぶ機会を設定している。個別活動で集団活動へ入りやすくするためのトレーニングも行っている。	・今後も継続していく

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	○		朝礼時に、利用児名、利用時間、送迎の有無、前回までの状況の確認、全体スケジュールの確認を行っている。	・今後も継続していく。報連相の徹底を一層図っていく
	18	○		個別記録に記録し、次回利用までに共有と振り返りを行い、次の支援内容を検討している。	・今後も継続していく
	19	○		記録を通して児童の状況の確認を行い、気づきを話し合っている。	・今後も継続していく
	20	○		年に2回定期面談を行っている。それ以外にも送迎時等に都度モニタリングを行い、計画の指針としている。	・今後も継続していく
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	○		児童発達支援管理責任者の他に対象の児童の主な担当となっている職員が参画している。	・今後も継続していく
	22	○		連携小児科、子育て支援無料LINE相談窓口、宇都宮発達センター、宇都宮LDサポートセンターと連携している。	・今後も継続していく
	23		○		・現状、医療的ケアが必要な児童の受け入れをしていないが、今後必要な際は連携を行う。
	24	○			・その必要性がある児童の受け入れをした場合には行っていく。
	25	○			
	26	○		移行する場合には利用児の利用施設と連携を図り、当施設での情報をまとめ、提供している。	・今後も継続していく
	27	○		宇都宮LDサポートセンターと連携を図り、研修等を行っている。また、系列放デイ事業所との共同研修もを行っている。	・今後も継続していく
	28	○		今年度も、新型コロナウイルスの観点から行事自体をあまり行っていないが、公園での他児童や、職員児童との交流は定期的に行っている。	・今後も継続していく
	29		○		今年度も、参加は新型コロナウイルスの影響で難しかった。今後も状況をみながら参加したい。
	30	○		送迎の際に口頭で施設やご家庭での状態の共通理解を図っている。必要に応じて電話やLINEでの連絡や相談もしている。	・今後も継続していく
	31	○		ご家庭の状況を踏まえ、各相談に対し一緒に対応策を考えている。今後、ペアレントトレーニングとしての情報提供も積極的に行なっていきたい。	・今後、ペアレントトレーニングとしての情報提供も積極的に行なっていきたい。
32	○		契約時に面談マニュアルに沿って、チェックしながら行っている。	・今後も継続していく	
33	○		児童発達支援計画の作成時、更新時に面談を行い、疑問点等がないように質問等も受けながら、支援内容を説明し、同意を得ている。	・今後も継続していく	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		常に傾聴の姿勢を取り、相談しやすいような体制をとっている。	・さらに相談の機会を増やしていきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会を試験的にを行っています。	・新型コロナウイルスの感染状況をみて、今後も小規模な保護者交流会を行うように計画中。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談しやすい環境を心がけています。	・直接のご相談だけでなく、電話や、LINE等での相談も継続していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		年間カレンダーをお渡しし、保護者様向けLINEでの情報配信も行っている。	・今後は写真等で活動の様子も伝えられるように整備していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		スタッフに取り扱いについて研修を行うとともに、鍵付きのロッカーに保管している。	・今後も継続していく
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		言葉選びにも十分配慮し、誤解や、不安等のない円滑なコミュニケーションが取れるように教育と注意喚起を常に行っている。	・今後も継続していく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現状、行っていないが必要に応じて今後検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			保護者への周知がまだ徹底されていない。今後は口頭説明だけでなく書面での周知を行う。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		利用児を交え年2回の避難訓練を行っている。散歩にて利用児全員に避難場所の確認を一度は行うようにしている。	・保護者への説明を書面にて行う。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		入会時に持病の有無などの聞き取りを行っている。	・今後も継続していく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		入会時にアレルギーの有無の聞き取りを行っている。	・今後も継続していく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録として残しており、発生後は直ちに共有している。	・今後も継続していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修等を行い、常にお互いの監視も行っている。	・さらに啓発を行っていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		少人数の支援体制なので身体拘束をしない方針で支援を行っている。	・現在、身体拘束を伴う児童の受け入れをしていない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。